

千葉大学におけるOAと 即時OAの実現に向けて

千葉大学附属図書館 武内八重子

JST/CHORUS Virtual Forum
Monitoring Open Access Compliance in Japan Under the New National Policy
14 November, 2023



CHIBA UNIVERSITY

1. 千葉大学について

- 10学部、17大学院をもつ、総合大学
- 教員 約1,300人、大学院生 約3,300人（うち博士後期 約1,200人）
職員 約2,200人、学部生 約10,300人
- 査読付き論文発表数（2020年度） 2,704件（うち英語論文2,232件）
- 科学研究費補助金助成事業等の獲得件数（2022年度） 1,485件
- 研究者情報は、researchmap及び部局ごとに公開



2-1. 千葉大学の現状（グリーンOA）

機関リポジトリによるOA

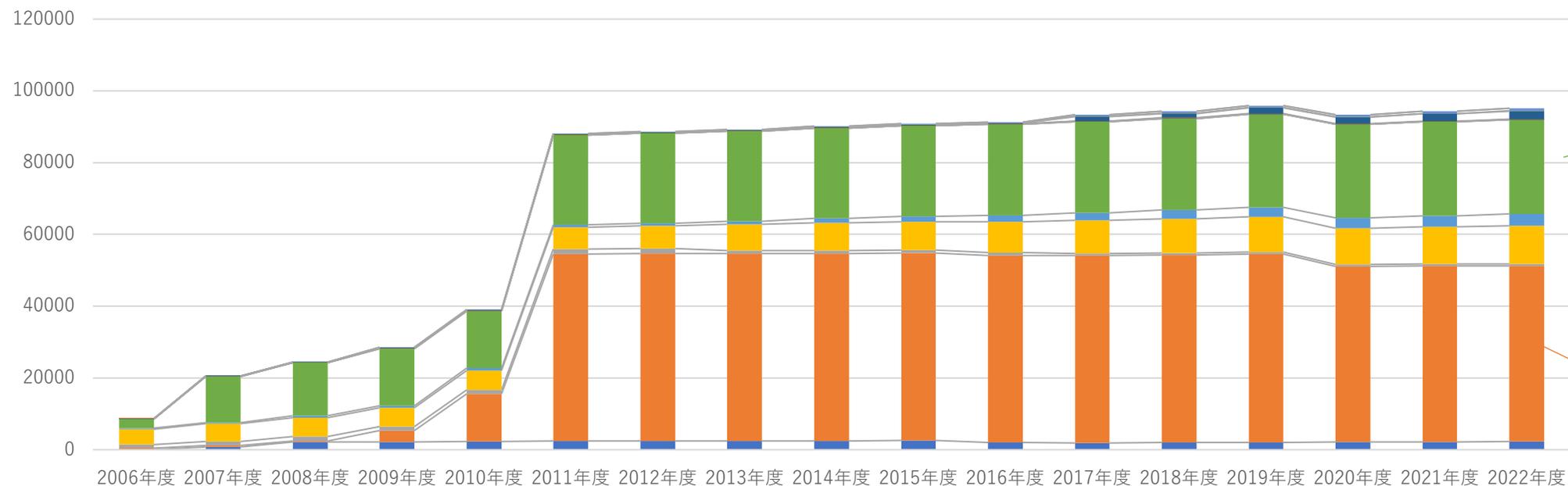
- 図書館への依頼、セルフアーカイブにより登録
- **グリーンOA**（学術雑誌論文のうち学内学会誌などを除く） 約500件
 - 2022年度の公開件数は21件
- CHORUSダッシュボードからのメタデータ流用登録 1,178件

プレプリント、分野別リポジトリ等によるOA

- ???

2-1. 機関リポジトリ概要 コンテンツ数の推移

公開コンテンツ数の推移 (2006～2022年度)



学内学会誌が
ほとんど

植物標本写真が
ほとんど

- Others (その他)
- Research Paper (研究報告書)
- Thesis or Dissertation (学位論文)
- Article (一般雑誌記事)
- Technical Report (テクニカルレポート)
- Presentation (会議発表用資料)
- Learning Material (教材)

- Data or Dataset (データ・データベース) 約48,700件
- Departmental Bulletin Paper (紀要論文) 約9,800件
- Journal Article (学術雑誌論文) 約26,700件
- Preprint (プレプリント)
- Conference Paper (会議発表論文)
- Book (図書)
- Software (ソフトウェア)

2-2. CHORUSダッシュボードからの流用登録

CHORUSダッシュボード

CHORUS Dashboard

Chiba University
ROR ID: 01h2eq58

Data represents number of articles that meet specific criteria audited on the specified date.
Click on any number below to view underlying data and access DOI links that click through to articles on publishers sites.

Indicator History

Show 25 entries

Date	#	Verified Open Access on Publishers Site		Reuse Terms Available		Archived	
		Yes	Unknown	Yes	Unknown	Yes	Unknown
4/17/2023	6715	1152	5563	2314	4401	3649	3066
4/16/2023	6715	1152	5563	2314	4401	3649	3066
4/15/2023	6715	1152	5563	2314	4401	3649	3066
4/14/2023	6715	1152	5563	2314	4401	3649	3066

リポジトリ

CHIBA UNIVERSITY REPOSITORY
CURATOR
for Access to Outcomes from Research

千葉大学学術成果リポジトリ

このアイテムのアクセス数:1件 (2023-04-19 14:26 集計)

ファイル	フォーマット	サイズ	ダウンロード回数	説明
https://doi.org/10.1039/c9cp01400d				DOI

基本情報

タイトル: Modifications in coordination structure of Mg[TFSA]2-based supporting salts for high-voltage magnesium rechargeable batteries

作成者: Choudhary Ashu, Imal Hiroaki, Ise Ryuta, Kanamura Kiyoshi, Mandai Toshihiko, Masu Hyuma, Soh Kenya, Takeguchi Tatsuya, Tatesaka Kenji, Tateyama Yoshitaka

ハンドルURL: <https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900120626/>

フルテキストへのリンク: <https://doi.org/10.1039/c9cp01400d>

その他の情報を非表示

コンテンツの種類	雑誌掲載論文 Journal Article
DCMI資源タイプ	text
ファイル形式 [IMT]	application/pdf
言語 [ISO639-2]	eng
関連情報 (URL)	http://dx.doi.org/10.5517/ccdc.csd.cc21sxb8 http://dx.doi.org/10.5517/ccdc.csd.cc21sxb8 http://dx.doi.org/10.5517/ccdc.csd.cc21sxb9 http://dx.doi.org/10.5517/ccdc.csd.cc222p95

Datasets (DOI)



論文
出版社版
または 最終稿



研究データ

ゴールドOA論文の
書誌情報を取得し登録

2-3. 千葉大学の現状（ゴールドOA）

出版社サイトでのOA

- 38.5%がOA（2020年、JUSTICEによる論文公表実態調査による）
 - ただし、論文発表数全体に対する割合は不明
- **APC支出額**は雑誌支出額の約25%（2022年度）
- **Read & Publishモデル**は、
 - 購読料のみで提供されるAPC無料/割引は利用中
 - APC分の費用を含む契約については検討中
- 優れた若手研究者を対象とした**APC支援**制度が学内で開始（2023年度～）

2-4. オープンアクセスに関する普及啓発

- OAウィーク、教員宛一斉配信メール
- ウェブページ、セミナー

研究成果をネットで公開する（オープン化）

アカデミック・リンク・センター/附属図書館ウェブサイト

<https://alc.chiba-u.jp/entry/open-access.html>

研究成果をオープンアクセスにする など

研究支援ポータル EYRJ!

<https://alc.chiba-u.jp/eyr/resirny.html>



Academic Link 千葉大学アカデミック・リンク・センター/附属図書館 学ぶ 研究する 教える

研究成果をネットで公開する（オープン化）

オープンアクセス（Open Access、以下OA）とは、研究成果（論文や研究データなど）をネット上で、誰もが無料で閲覧できるようにした状態を指します。

研究成果の公開（OA化）は、自身の研究を広く知ってもらうことに役立つだけでなく、情報公開の推進（透明性の確保）や、社会に対する説明責任を果たすことにつながるなど、研究者自身や大学全体にとって大きな意義を持ちます。

ここでは、千葉大学に所属する研究者の皆さん（教員、大学院生など）が、千葉大学のリポジトリなどを使って、研究成果をOA化する方法について説明します。

目次

- [オープンアクセス（OA）とは](#)
- [研究データのOA化](#)
- [千葉大学オープンアクセス方針](#)
- [千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR からの研究成果公開](#)
- [千葉大学学術リソースコレクション（c-arc）からの研究成果公開](#)

研究成果をオープンアクセスにする

2020.3.16
2023.4.4

このページのタグ
学術論文¹ # 研究データ² # 制度・手続き³ # デキス

このページでわかること

1. オープンアクセス(OA)についての基礎知識
2. 自分の書いた論文をOAにする方法
3. 研究データをOAにする方法

はじめに

このページでわかること

目次

- [Topic01 オープンアクセスとは？](#)
- [Topic02 実際に論文をオープンアクセスにする](#)
- [Topic03 研究データを公開する](#)

ORCID iDの使い方

2022.10.24

このページのタグ

はじめに

自身の研究業績を管理・公開することは、就職活動や助成金の申請などを行うにあたって、必要不可欠なことです。

また研究の世界では、世界中の研究者が、様々な言語を用いて、お互いに、書いた論文や作成したデータセットを検索していますが、検索語としてよく用いられるのが著者名(氏名)です。

近年、研究者が書いた論文などの研究業績は、自動的に収集され、さまざまな「検索システム」で検索されています。

このとき、日常で個人を識別するために用いられる「氏名」よりも、より正確な識別を行うために、ORCID iD (オーキッド・アイディー)に代表される研究者識別子が用いられます。

研究者識別子の意義

論文等に掲載される氏名には様々な表記方法があります。

例えば「千葉 太郎」という名前には、

- T. Chiba
- Taro Chiba
- 千葉太郎

3. 学術論文等の即時OAの実現に向けての期待と懸念

リポジトリ（機関、分野別など）によるOA

- 現在の体制で対応できるか？
- 共著者の許諾確認や著者最終稿の確保など、登録作業は軽減されることを期待する
- 国内学会誌等の著作権ポリシー整備は未だ進んでいない（Gray43%、White9%）

出版社サイトでのOA

- 学術雑誌の購読、APC（支援）のバランスをどうとるか

OA状況をいかに効率的に把握するか？

- OA状況をモニタリングする方法
 - OpenAIRE、CHORUSなどの取組み
 - Web of Science、Scopus、Unpaywallなどの機能を使用した調査
- OA率の場合、調査単位（研究課題、機関）によっては全数を把握する方法も必要
- メタデータ、特に各種ID（DOI、研究課題番号、助成機関IDなど）の整備が重要では？